

調査項目	実施機関	平成17年度			平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
		基	追	検				
イオンビートル調査	長魚目調査			○	次年度の調査準備	調査地域全域の見直しリストを作成し、3次モニタリングの分布を把握	前年度の補足調査	
	角類目調査			○	次年度の調査準備	調査地域全域の見直しリストを作成し、3次モニタリングの分布を把握	前年度の補足調査	
	繁殖鳥類分布調査			○	ラインセンスによる繁殖鳥類分布調査(知床五湖周辺)	ラインセンスによる繁殖鳥類分布調査(知床五湖周辺)	ラインセンスによる繁殖鳥類分布調査(知床五湖周辺)	ラインセンスによる繁殖鳥類分布調査(知床五湖周辺)
	ホシヅメ、トリノズミ調査			○	次年度の調査準備	ホシヅメ、トリノズミの分布を把握	前年度調査結果の解析	
	知床半島周辺のホシヅメ、トリノズミ調査			○	次年度の調査準備	知床半島周辺の中・小型食肉類(コウタン、オコジョ、イヌネ等)の分布を把握	前年度調査結果の解析	
	経管実植物フロア調査			○		次年度の調査準備	シロツメクサ等外来種やアザミオニアザミ等外来種も含め、調査地域内の重要地域(知床岳、越前(有馬町、ルンタ等)で植物相リストを作成し、3次モニタリングの分布を把握	前年度の補足調査
	新築地調査	△		○		次年度の調査準備	調査地域全域の繁殖相リストを作成し、3次モニタリングの分布を把握	前年度の補足調査
エコシガ	防獣柵内外の原生モニタリング			○	知床側に設置した3箇所及び森林内の二箇所(防獣柵内)での原生回復状況モニタリング(継続)	知床側に設置した3箇所及び森林内の二箇所(防獣柵内)での原生回復状況モニタリング(継続)	知床側に設置した3箇所及び森林内の二箇所(防獣柵内)での原生回復状況モニタリング(継続)	知床側に設置した3箇所及び森林内の二箇所(防獣柵内)での原生回復状況モニタリング(継続)
	シカ越冬体数調査(半島全域)			○	ラインセンスによる冬期シカ越冬体数調査	ラインセンスによる冬期シカ越冬体数調査	ラインセンスによる冬期シカ越冬体数調査	ラインセンスによる冬期シカ越冬体数調査
	シカ季節移動調査			○	道庁別、性別、若齢別及び知床半島内における個体群の季節移動調査	重要地域における季節移動調査(継続)	重要地域における季節移動調査(継続)	重要地域における季節移動調査(継続)
	過去のエコシガ個体群調査			○	括弧水からの年齢分析及び土壌コアからの花粉分析により、エコシガによる過去の食住及びシカ補給物の資源を調査	補足調査、エコシガ管理計画への反映		
ヒギマ	ヒギマ生態環境調査			○	ヒギマ個体群の道産種及び分布域の調査から生態環境を分析する	ヒギマの分布及び生態環境等の調査	ヒギマの分布及び生態環境等の調査(継続)	ヒギマの分布及び生態環境等の調査(継続)
	外来植物			○	アメリカオニアザミをはじめとする外来植物の南限域での侵入状況調査と重要地域の調査。アメリカオニアザミは繁殖効果もモニタリング(継続)	アメリカオニアザミをはじめとする外来植物の重要地域での侵入状況調査。アメリカオニアザミは繁殖効果もモニタリング(継続)	アメリカオニアザミをはじめとする外来植物の重要地域での侵入状況調査。アメリカオニアザミは繁殖効果もモニタリング(継続)	アメリカオニアザミをはじめとする外来植物の重要地域での侵入状況調査。アメリカオニアザミは繁殖効果もモニタリング(継続)
外産種	外産動物(アライグマ)			○	アライグマを対象に、侵入状況調査、繁殖状況調査を行うとともに、繁殖効果を検討する	アライグマを対象に、侵入状況調査、繁殖状況調査を行うとともに、状況に応じて繁殖効果を検討する。(継続)	アライグマを対象に、侵入状況調査、繁殖状況調査を行うとともに、状況に応じて繁殖効果を検討する。(継続)	アライグマを対象に、侵入状況調査、繁殖状況調査を行うとともに、状況に応じて繁殖効果を検討する。(継続)
	シマフクロウ			○	繁殖個体数の確認、個体調査	繁殖個体数の確認、個体調査(継続)	繁殖個体数の確認、個体調査(継続)	繁殖個体数の確認、個体調査(継続)
鳥類	オオサンショウクイ			○	越冬個体数、越冬状況及び繁殖状況のモニタリング(継続)	越冬個体数、越冬状況及び繁殖状況のモニタリング(継続)	越冬個体数、越冬状況及び繁殖状況のモニタリング(継続)	越冬個体数、越冬状況及び繁殖状況のモニタリング(継続)
	希少植物群			○	海岸帯、内川帯におけるガクウツク等希少植物群分布状況調査		主要分布地域での分布状況調査	
植物	原生回復			○	空中写真及び衛星画像により1/25000の原生回復を作成			
	利用圧によるインパクト			○	知床半島周辺の原生回復調査	登山道沿いの原生モニタリング	土地利用が強い地域での原生モニタリング	利用圧による原生への影響評価及び対策の検討
その他、(国、道)だけでなく町や各研究機関が実施している(様々な調査・研究を含む)								
防排水生態系	淡水魚類調査			○	外産魚分布調査	調査地域内河川における淡水魚類の繁殖調査		
	サケ科魚類調査			○	主要19河川におけるサケ科魚類調査	主要25河川におけるサケ科魚類調査	H17/18の結果を踏まえ主要な河川におけるサケ科魚類調査のモニタリング(継続)：隔年	H17/18の結果を踏まえ主要な河川におけるサケ科魚類調査のモニタリング(継続)：隔年
	河川工場の影響			○	WGの意見を踏まえて河川工場の影響評価に関する調査(河川環境、土砂動態)	WGの意見を踏まえて河川工場の影響評価に関する調査(河川環境、土砂動態)	WGの意見を踏まえて河川工場の影響評価に関する調査(河川環境、土砂動態)	WGの意見を踏まえて河川工場の影響評価に関する調査(河川環境、土砂動態)
	流域から海への栄養運搬			○	流域からの栄養が、どの程度陸域に運搬されているか、海洋由来の栄養に注目して調査する。土壌、湖水のサンプルの採、河川の水サンプルも考えられる。	流域からの栄養が、どの程度陸域に運搬されているか、海洋由来の栄養に注目して調査する。土壌、湖水のサンプルの採、河川の水サンプルも考えられる。	流域からの栄養が、どの程度陸域に運搬されているか、海洋由来の栄養に注目して調査する。土壌、湖水のサンプルの採、河川の水サンプルも考えられる。	流域からの栄養が、どの程度陸域に運搬されているか、海洋由来の栄養に注目して調査する。土壌、湖水のサンプルの採、河川の水サンプルも考えられる。
その他、(国、道)だけでなく町や各研究機関が実施している(様々な調査・研究を含む)								
海産生態系	海産生物調査			○	海産資源管理の基礎データとするため、海岸沿いに存在する海産性の生物相の調査			
	海産魚類調査			○	海産魚類の主要種における海産・海産魚の分布モニタリング	海産魚類の主要種における海産・海産魚の分布モニタリング	海産魚類の主要種における海産・海産魚の分布モニタリング	海産魚類の主要種における海産・海産魚の分布モニタリング
	海産鳥類調査			○	海産鳥類、繁殖個体数のモニタリング	海産鳥類、繁殖個体数のモニタリング	海産鳥類、繁殖個体数のモニタリング	海産鳥類、繁殖個体数のモニタリング
	海産哺乳類調査			○	知床半島周辺海域における海産哺乳類(トド)の移動状況、分布状況等の調査	H18年結果を踏まえて地点を絞り込んだ定点調査(隔年)		H18年結果を踏まえて地点を絞り込んだ定点調査(隔年)
	海産産物			○	漁業がもたらす栄養による植物・動物プランクトン発生過程の解明			知床周辺海域の植物プランクトンの発生状況、過去に比べて調査箇所を絞り込む
	海産資源管理計画策定及び履行に必要な調査			○	海産WG等での意見を踏まえて調査内容について決定	海産WG等での意見を踏まえて決定した調査の実施、海産資源管理計画への反映		必要に応じたモニタリングの継続
その他、(国、道)だけでなく町や各研究機関が実施している(様々な調査・研究を含む)								
知床プロセス	データベースの整理及びGIS等による統合			○	海産と陸産を一体的に保全していくため、長年蓄積されたデータの共有を図る。既往調査データの整理のほか、研究者間の共有データベース(海産等)の入手も含まれる。また、陸産及び海産の自然観察も含めた各種調査結果、河川工場の影響、利用の調査等の社会情報、動物の分布、海産資源情報の各種自然情報の図表化、統合する。	海産と陸産を一体的に保全していくため、長年蓄積されたデータを共有し、自然観察結果等の追加情報や陸産調査結果までの各種モニタリング等調査結果を統合し、必要に応じて各種計画策定に必要な図表を提供する。	自然環境、社会情報等の追加情報や陸産調査結果までの各種モニタリング等調査結果を統合し、必要に応じて各種計画策定に必要な図表を提供する。	自然環境、社会情報等の追加情報や陸産調査結果までの各種モニタリング等調査結果を統合し、必要に応じて各種計画策定に必要な図表を提供する。
	モニタリング評価の調査			○	既存の各種調査や関係機関の活用・整理する。	上記調査を踏まえて、調査地域内の自然環境を適切に管理する上で重要な指標や水準を提示する。	上記調査結果を踏まえて、指標や水準を提示する。	上記調査結果を踏まえて、指標や水準を提示する。